

村政を問う 一般質問 6

奈良井地籍公園化計画の対策は
公約した「観光局見直し」は
国保税は値上げすべきでないと思うが
燃料代の値上がりに対する施策は
合意が得られなかった場合は

はろば
白馬
議会だより
85号

平成20年第2回定例会 1

請願・陳情の審査結果 5

おらが里づくり 12

わたしのこころ 13



アンパンマン先生もハッスル
児童・保護者も大喜び

住民投票条例は 継続審査!

*繰越計算書の報告

*条例一部改正の専決処分報告

*平成19年度一般会計・特別会計補正予算の専決処分報告

*平成20年度一般会計・特別会計補正予算の議案

*条例制定の発議

*請願・陳情

*農業委員の議会推薦

*意見書提出の発議

一般質問は、5名の議員が村政を問いました。

1件
5件
2件
3件
7件
3件
3件

本会議での討論

●北アルプス広域連合が計画している、新ごみ処理施設建設計画を白紙撤回し、学識経験者、住民代表を含めた「ごみ問題特別委員会」(仮称)の設置を求める陳情書

賛成討論 (渡辺議員)

ごみの処理というものは、住民自治の根幹に関わる事業です。住民のためによる、住民による審査を深める必要があります。

反対討論 (柏原議員)

この陳情を認めて、北アルプス広域の中で学識経験者・住民代表を出してごみ問題特別委員会を作ることとは広域を否定したことになります。ご

み処理場は村で引き受け、村の中に学識経験者・住民代表を含めた組織を作って検討すべきであり、陳情は一旦否決をすべきと考えます。

反対討論 (下川辰男議員)

平成17年から協議を重ねる中で、村民負担を軽減し、最終処分場のことも考えると広域での建設が得策と考えます。広域連合での新ごみ処理施設の建設を認めてきた村議会としては、広域連合で決定した建設候補地であり、現在の候補地で環境影響調査等を行って頂き、もし問題が生じた場合は、広域連合に一旦お返しをし、再度候補地を選定して頂くようになると思いますが、環境影響調査等で問題がなければ、候補地を受け入れる住民合意に努力すべきと考え、不採択に賛成します。

反対討論 (大谷議員)

広域連合が進めるごみ処理場建設候補地を、飯森地区にすることに賛成します。

●新ごみ処理施設建設の賛否を問う住民投票条例制定の陳情書

賛成討論 (渡辺議員)

住民の署名が過半数を上回っていることを真摯に受け、住民意思を明確にすべきです。村長は、法的根拠がないと言っていますが、住民意思を明確にする手法としては、住民投票をもって他ないと確信しています。

反対討論 (柏原議員)

住民投票条例については、もう少し慎重にすべきと考えます。条例を制定して物事が起きた場合は、すべて住民投票という形になってもいけませんし、この件については、継続審査にして慎重に議論すべきです。

ごみ処理施設建設計画 白紙撤回は否決!

賛成討論 (小林議員)

すべてを住民投票、という趣旨で、申し上げてきたわけではありません。ごみ処理施設問題がここまで膠着状態が続いています。過半数の反対署名、白紙撤回を求める署名の重みというものを、改めて考えてみる必要があります。村長答弁の中で、重みを真摯に受け止めるという趣旨の発言は何度も聞かされていますが、住民投票が民意をきちんと把握する上では明快な方法ではないかと思っています。

反対討論 (池田議員)

これから二巡目の説明会が始まり、更に住民の方に徹底していただいてからでも遅くはないと考えますので、継続審査に賛成です。



● 過剰な農薬取締法により、植物からなる、農業用有機資材を締め出す不法な行政指導の改善を求める意見書提出に関する陳情書

賛成討論 (渡辺議員)

化学農薬及び肥料に大きく依存している農業政策こそ見直すべき時に来ていると思います。有機資材を全て閉め出してしまうのではなく、使用については門戸を開けておくべきです。どのようにして安全な食糧を確保していくか、消費者・生産者が共に英知を絞っていかねばなりません。

反対討論 (太谷議員)

農林水産省消費・安全局長から「無登録農薬と疑われる資材に係る製造者、販売者等への指導について」通達が出ており、この資材は安全性が確認されていないので、許可を取り販売をしてほしいと考えます。



二巡目の住民説明会 (堀之内公民館)

このような審議がありました

総務社会委員会

◎白馬村廃屋に関する条例の制定

廃屋条例は行政再提案 アイドリング条例は否決

意見 すべて村

がやるようになる
と問題である
ので、内容を更
に研究する必要
があります。

意見 問題を解
決して条例の制
定が必要です。

意見 行政で作成した条例案
を、議員が発議するのはおか
しいと思います。

問 提案者は事務局で修正し
た条例案を再度検討しました
か。

提案者 一つ一つはしていま
せん。

※ 条例制定は必要であるが、
行政代執行が法律との関係で
問題があります。また、県段階
で研究会を設立し、廃屋につ

いての問題を検討していく方
向なので、県と協調しながら
必要な条例の策定は行政側か
ら再提案すべきでありますの
で、賛成少数で本案は否決と
決定しました。

◎平成20年度白馬村一般会計
補正予算

問 ごみ集積場設置補助金の
二地区は、どこの地区か。

答 佐野地区と飯田地区です。
なお、飯田地区は集積場の建
替えです。

※ 賛成全員で本案は可決と
決定しました。

◎白馬村アイドリング・ス
トップに関する条例の制定

問 条例中に、不必要な稼働
とありますが、冬期間の暖気
運転は、不必要な稼働になり
ますか。

提案者 不必要な稼働に該当
します。(従って条例違反にな
ります。)

問 冬期間、朝早く着いたス
キー客の皆さんは、駐車場で
暖気運転をしながら、スキー
場の営業開始を待っています

が、これも違反になるのです
か。

提案者 違反になります。ス
キー客が暖気運転するため、
雪が少なくなってきたらと
考えられますので、スキー客
の皆さんからも協力してもら
わねばなりません。

問 違反者は、10万円の罰金
を払わなければならないとあ
りますが、観光地として、イ
メージダウンになるのではな
いでしょうか。また、住民にも相当
な負担になるのではないで
しょうか。

提案者 奈良市と立山町の条
例を参考に作成してあります。

奈良市は、歴史的文化遺産及
びその周辺等の区域を指定し、
平成11年より施行しています。

意見 白馬村のような寒冷地
では、冬期間15分〜20分間暖
気運転をしないと事故に繋が
る恐れがありますので、白馬
村のような寒冷地には適さな
いと思います。

意見 奈良市も立山町も区域
を指定して実施しています。

本案では、村内全区域を指定
することになっていますが、
全区域を指定することには反
対です。

意見 努力目標として掲げる

産業経済委員会

◎平成20年度白
馬村一般会計補
正予算

古民家再生整備、今年度 厨房・交流施設の改築

問 地域市街地
活性化整備事業
とは。

答 古民家再生
の整備費で、総
額5,000万
円の内の一部で
す。今年度厨房・
交流施設の改築

を、日本宝くじ協会の助成金
を受けて実施をします。

問 強い園芸産地育成事業の
苗代は、担い手への補助です
か。

ことはよいが、日々の生活の
なかで、住民が直接不利益を
被ることは好ましくありません。
むしろ、大企業等の排出抑
制・規制等を国策で実施した
方が効果があると思います。
※ 賛成2名・反対3名で本
案は否決と決定しました。

答 事業主体は、北城がマイ
ティカル、神城が松沢氏で、苗
代はりんどです。

問 電話回線工事費は、お客
様からの問い合わせを内線で
観光局に転送できるというこ
とですか。

答 観光局と観光農政課との
横の連携が悪いという話しが
あったため、役場から内線で
観光局に転送する工事をし、
利便性を図ります。

問 外国人向けの案内板は、
英語表記か。

答 猿倉・白馬尻に英語表記
で設置の予定ですが、他の外
国語も検討したいと思えます。

※ 賛成全員で本案は可決と
決定しました。

ごみ処理施設特別委員会の審議内容

◎北アルプス広域連合が計画している、新ごみ処理施設建設設計画を白紙撤回し、学識経験者、住民代表を含めた「ごみ問題特別委員会」(仮称)の設置を求める陳情書

●北アルプス広域連合議会へ白紙撤回して戻し、3市村の中で学識経験者、住民代表を出して議論しても、白馬で白紙撤回したものは、話しが進みません。広域連合と条件を話し合い、村の中で用地の適地を選定して、学識経験者、住民代表を含めた委員会を設けるのが妥当です。何故広域連合に、白馬で引き受けたので「白馬村で決定させてくれ」と、お願いできないのですか。一旦広域に返し、改めて決定することは不可能に近く、広域連合に返す白紙撤回には反対です。

●村民不在のため、陳情書の提出は当たり前です。同じテーブルに着いた方が解決は早いし、根本的なところを改

めない限り、3年でも5年でも続きます。基本的に住民を入れないことに問題がありません。

●平成20年度に決定しても、環境アセス等調査をすれば、平成22年稼働は難しく平成23年稼働になると思われます。したがって、民意の反映する選定委員会によることは、必然的に難しくなります。

●広域でやるということは、平成9年から議会で審議をしてきているなかで、たまたま飯森地区が候補地に決定したから反対ということになれば、総論賛成、各論反対です。筋が通らない話です。議会としてはすじを通すべきです。村で別の予定地を出したとしても、広域で否決されます。広域に返せば、再び佐野坂を越えることはないと考えます。村の中の建設は、ある程度住民合意はできていると思います。白紙撤回の文面は問題があります。

*採択2名・不採択7名で不

採択と決定しました。

◎北アルプス広域連合が白馬村飯森地区に計画中的のごみ処理施設の建設についての住民投票に関する条例の制定

●住民投票によって、賛否を問う方法が単純明快です。村長が提案したアンケートは、的確な判断をするには設問が

難しいため、危険性があります。飯森地区としては、意思を表しているのですか。飯森地区はOKをとったという前提で、住民投票をしてもよいのか疑問に感じます。飯森地区が賛成であれば、住民投票をしても妥当ですが、反対であれば、地区の意思を無視して村で決めるのは、非常に不自然な決め方です。飯森地区の意思が、確認できているのですか。

分議論する必要があります。

●説明会をしても説得する説明ばかりです。住民投票は色が強いので、民意の把握は第一段階としてアンケートで実施、住民投票に近いアンケートでどうですか。継続にして慎重審議が必要です。

●住民投票を提案したときに、村長は答弁で「村にはそぐわない」と言われました。住民投票は、明快に答えが出るので発議に賛成しました。議論を重ねることは賛成です。

参考(村長)

「飯森地区一人ひとり確認を取れているか」と聞かれれば、文章で取ったものはありません。

●アンケートは、採め事が出るので、

明快な住民投票の方がよいです。

●メリット、デメリットがあるので、十

ごみ処理施設イメージ写真



◎新ごみ処理施設建設の賛否を問う住民投票条例制定の陳情書

●条例の制定と同じ

*賛成2名・継続7名で継続審査と決定しました。

● 6月定例会議決結果 ●

議案番号	件名	議決結果
報告第2号	平成19年度白馬村一般会計繰越明許費繰越計算書について	
報告第3号	白馬村税条例の一部を改正する条例の専決処分報告について（専決第2号）	承認（賛成全員）
報告第4号	白馬村都市計画税条例の一部を改正する条例の専決処分報告について（専決第3号）	
報告第5号	白馬村国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分報告について（専決第4号）	承認（反対1）
報告第6号	白馬村手数料条例の一部を改正する条例の専決処分報告について（専決第5号）	承認（賛成全員）
報告第7号	白馬村国民健康保険条例の一部を改正する条例の専決処分報告について（専決第6号）	
報告第8号	平成19年度白馬村一般会計補正予算（第7号）の専決処分報告について（専決第7号）	承認（反対1）
報告第9号	平成19年度白馬村国民健康保険事業勘定特別会計補正予算（第6号）の専決処分報告について（専決第8号）	
報告第10号	平成19年度白馬村老人保健医療特別会計補正予算（第3号）の専決処分報告について（専決第9号）	
報告第11号	平成19年度白馬村下水道事業特別会計補正予算（第4号）の専決処分報告について（専決第10号）	承認（賛成全員）
報告第12号	平成19年度白馬村農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）の専決処分報告について（専決第11号）	
議案第32号	平成20年度白馬村一般会計補正予算（第1号）	可決（賛成全員）
議案第33号	平成20年度白馬村国民健康保険事業勘定特別会計補正予算（第1号）	
平成19年 発議第13号	廃屋に関する条例の制定について	否決（賛成1）
発議第1号	北アルプス広域連合が白馬村飯森地区に計画中のごみ処理施設の建設についての住民投票に関する条例の制定について	継続審査
発議第7号	白馬村アイドリング・ストップに関する条例の制定について	否決（賛成2）
発議第8号	白馬村農業委員会委員の推薦について	可決（賛成全員）
発議第9号	白馬村農業委員会委員の推薦について	
発議第10号	白馬村農業委員会委員の推薦について	
発議第11号	30人学級の早期実現、教職員定数増を求める意見書	
発議第12号	「義務教育費国庫負担制度の堅持」を求める意見書	
発議第13号	森林・林業・木材産業施策の積極的な展開を求める意見書	

● 請願・陳情文書 ●

平成20年第2回白馬村議会定例会にて審議

受理番号	提出者	住所	要旨	所管委員会	審査結果
請願 2号	白馬村教職員組合 執行委員長 山崎 晃	白馬村	30人学級の早期実現、教職員定数増を求める意見書提出に関する請願	総務社会 委員会	採択（賛成全員）
請願 3号	白馬村教職員組合 執行委員長 山崎 晃	白馬村	「義務教育費国庫負担制度の堅持」を求める請願	総務社会 委員会	採択（賛成全員）
平成19年 陳情 9号	「白馬新ごみ処理施設を 考える」連絡協議会 会長 宮田 温巳	白馬村	北アルプス広域連合が計画している、新ごみ処理施設建設計画を白紙撤回し、学識経験者、住民代表を含めた「ごみ問題特別委員会」（仮称）の設置を求める陳情	ごみ処理 施設特別 委員会	不採択（賛成2）陳情者が求める白紙撤回は、候補地選定権を広域に返上することを意味し、特別委員会の設置は必要がありません。
平成19年 陳情 17号	「白馬新ごみ処理施設を 考える」連絡協議会 会長 宮田 温巳	白馬村	新ごみ処理施設建設の賛否を問う住民投票条例制定の陳情	ごみ処理 施設特別 委員会	継続審査 住民合意形成に向かって二巡目の地区説明会があり、その動向を検証しながらアンケート・住民投票の議論をする必要があります。
陳情 2号	長野県医療団体連絡懇談会 県難病患者連絡協議会 会長 田中嘉典 他3団体	長野市	老人医療費給付事業の継続を求める陳情書	総務社会 委員会	継続審査 財政上の問題があるため、慎重な審議が必要です。
陳情 4号	全国林野関連労働組合中 信森林管理署分会 執行委員長 山本 文男	松本市	森林・林業・木材産業施策の積極的な展開を求める陳情	産業経済 委員会	採択（賛成全員）
陳情 5号	合資会社 緑源 社長 諸 百合子	東京都	過剰な農薬取締法により、植物からなる、農業用有機資材を締め出す不法な行政指導の改善を求める意見書提出に関する陳情	産業経済 委員会	不採択（賛成1）農水省でも基準を作る必要がありますが、食の安心・安全が最優先であり、国の指導に従って許可を得ることが望ましい。

一般質問 (紙面の都合上、質問者本人が要約し掲載しています)

村 活力ある
村づくりをめざして
政を問う



多数の人に祝福され村民栄誉賞第1号上村愛子さん



完成した白馬北小水泳プール (7月9日プール開き)

農業問題

問 奈良井地籍公園化計画の対策は

答 早急に対策を講ずるべきだと考える



下川正剛議員

【奈良井の公園化計画】

問 圃場整備を実施したが、地盤が軟弱なため耕作できない神城奈良井の対策として、平成12年にまちづくり総合事業を取り入れて、公園化することを決定したと聞いています。この事業は、大出公園に引き続いて着工する計画で、地元の説明会を開催し、大きな期待を寄せていました。ところが、現在まで方向性が全く見えず、解決の先送りしか思えない対応が続いています。30年間も耕作できず、償還金を払い続けてきた地権者、更に期待をして

いる地元に対してしっかり経過を説明し、耕作できない不耕作地をどうすべきか、県などと協議をして早急な解決を図るべきだと思えますが如何ですか。

村長

圃場整備事業完了時から、湿田対策として公園整備事業が論じられ数年が経過し、その間地権者の皆様には、償還金・補完工事の負担金などのご負担及びご心労を思うと早急に対策を講ずるべきと考えています。今後は、当該地区が土地改良事業施行地区・農振農用地地区であるので、県や国の農政関係部署と調整・連携が必要であり、観光農政課農政係・土地改良係を窓口として検討させていただきます。

【高規格道路】

問

地域高規格道路松本糸魚川連絡道路の早期

実現は、経済効果・救急医療・騒音等の面からも大北地域の長年の悲願です。現在、村は県からの情報をどのように把握しているか伺います。

村長

本日までルート案は示されていません。しかし、県では本年の秋までにはルートを決する予定であり、現在ルート案の発表方法等を検討しているようです。

問

【観光の状況】

観光局長の公募について詳細を伺います。

村長

公募者29名（村内5名、県内7名、県外17名）の内、広い人脈、観光に對しての考えが明確であり、また民間で培われた経験がある庵豊（いおりゆたか）氏を観光局長に任命しました。

問

長野経済研究所に村の観光の現状、今後の観光のあり方などを検証してもらったが、今後どのように取り組んでいきますか。

村長

長野経済研究所による検証結果を十分尊重し、観光局の事業の方向性等計画を実現するための戦略が求められており、会員との連携強化・事業の効率性等を図ります。



地盤が軟弱な神城奈良井地籍

観光問題

問 公約した「観光局見直し」は

答 観光局長を民間から登用しました



渡辺俊夫議員

務事業評価制度により検証と評価を行っていきます。

【外国資本流入】

外国資本の流入にどのように対処しますか。

問

今は入ってくることを規制する理由はない

村長

とっています。

外国人向け高級別荘地として約7万平方メートルの土地を開発する計画がありますが、どのような

対処を考えていますか。

環境課長 永住促進ではなく、投資

機目的の心配がありますので、業者の動きを注意し、

地元の皆さんと協調しながら

今後の事を決めていきます。

【価格高騰と農林業振興】

地域内での自給率を上げるなど、観光事業者と直結した農林業振興が必要と考えますが、施策はあります

問

村としての食糧自給率を高める努力は、観光産業に繋がっていくと考えています。遊休農地の活用について、提言を頂きたい。

村長

前村長は「むらごと自然公園」という言葉を使ってきました。みんなを変えよう！が公約ではなかったのですか。

【第4次総合計画基本理念】

前村長は「むらごと自然公園」という言葉を使ってきました。みんなを変えよう！が公約ではなかったのですか。

問

観光の基本理念は、第4次総合計画による「むらごと自然公園」を否定し、新たなフレーズを作ることが「変える」公約とは違う。山岳景観と山麓資源を上手く利用し、観光立村としての構築を図るために、長野経済研究所に問題を提示し、検証していただいた。

村長

どんな観光地をつくりたいのですか、イメージとして持っていますか。

【観光ビジョン】

是非、長野経済研究所の検証を良くご理解いただきたい。

村長

【地球温暖化防止】

新たな施策及びその施策のもとに行われる具体的な事業はありますか。

ともかく今年はごみの減量・分別をテーマに進めていきます。温暖化対策については、国を挙げての低炭素社会実現に向けた強い誘導策を待ち望んでいます。

村長

村長

不在の観光局長を民間から登用したことは、観光局の大きな体制が変わったということであろうと思います。

問 村政運営を2年行つて何が一番大きく変わりましたか。

村長

【観光施策検証】

問 現行の各観光施策及び事業に対する検証はどのように行っていますか。

村長

検証については、長野経済研究所の検証結果も十分尊重すると共に、事



外国資本による開発が進むニセコ比羅夫

医療制度

問 国保税は値上げすべきでないと思うが

答 財政の悪化は避けられません



小林英雄議員

【後期高齢者医療制度に伴う国保税】

問 4月に始まった『後期高齢者医療制度』は、

世界に例のない差別医療で、国民からは“廃止を”の声が高まっています。この制度導入による国保税は値上げすべきでないと考えますが。

村長 収納率の高かった高齢者が国保から切り離されたことによる国保財政の悪化は避けられません。値上げは、医療費の伸びが県下7番目であり、今後の動向を注視して考えていきます。

視して考えていきます。



ステップや手すりが装備された福祉車両

問

18万円以下の年金者は何人いますか。また、

その対象者の生活実態の把握と村の対策を伺います。

村長 無年金者を含めて30人弱です。生活の状況は様々です。地域包括支援センターによる支援と、北安曇地方事務所・村内の老人介護施設との連携による支援を講じています。

問 年金天引き・滞納者の保険証取り上げ・受けられる医療の質など、この制度がいかに非人間的な制度であるか、日本共産党はこれを許しがたい“棄民”制度だと考えていますが。

村長 国の繁栄に努力してきた人々が安心できる制度でなければならず、充分な審議を尽くすなかで、高齢者の生活の安定に努力することが必要だと思えます。

問 【農業再生】日本共産党がこの3月に発表した「農業再生プラン」は、4つの提言に向けて農業政策の方向転換をはかることで、“39%に落ち込んでいる食料自給率を50%台に回復する”ことをめざすものです。村にあって、手入れの行き届いた田園風景は山並

みとの調和に欠かせない観光資源でもあり、豊かな景観を維持するためにも農業者を支援しての農業再生は急務と考えます。“地産地消を進める村宣言”をし、農業生産者への支援として、生産者ならいつでも売ることが出来る場所の提供をしてはどうでしょうか。また、販売手数料への補助策の考えはありますか。

村長 今後、行政が様々なより良い方向に持っていくと考えると、補助については考えてはいたませんが、水田転作として出荷野菜を取組むば支援の対象になります。

問 【ごみ処理施設建設】建設計画にはまだまだと考えています。村長は、アンケートで民意を把握するといいますが、その中身を具体的に示してください。

村長 村民のYes・No等を聞くには、情報を十分提供すべきだと考えています。アンケートの諮問・方法等については検討中です。

等については検討中です。

観光問題

問 燃料代の値上がりに対する施策は

答 行政で対応できる方策は難しい



高橋賢一議員

【冬期観光振興対策】

問 原油高騰による燃料代の値上がりは、スタ

グフレーション現象（不況と物価の持続的な上昇が共存する状態）を引き起こし、観光の村に大きな負担となっています。滑走可能なゲレンデを早く作るのはスキー場が生き残るための必要条件で、人工降雪機の稼働には大量の燃料が必要です。直接経営を圧迫する事態における対策は、

村長 スキー事業者にとつて、大きな打撃を受けていることは理解しています。燃

料高騰は、交通・宿泊・飲食等あらゆる業種に影響が出、観光白馬にとって死活問題になりかねないと考えますが、行政で対応できる方策は難しいため、観光局を中心に客足確保を考えていきます。

問 滞在日数の長い海外からのお客様からも強い要望がある日数券の共通化について、観光局が窓口になって早期実現をすべきではないか。

村長 21世紀観光の飛躍に向けての検討会で、村内リフト券共通化は、スキー産業の発展において必要なこととされていますので、更にスキー場事業者に働きかけをしていきます。

問 習慣の違う国の方々が、村内に居住するということは、地域の決まりを守るといふこと。地区のごみ収集場に置かれる分別されない

ごみに悩まされています。が、「外国人生活ガイドブック」（英語版）を作成し、ごみ・リサイクル物の分け方・出し方について、啓蒙をしていきます。

村長 「外国人生活ガイドブック」（英語版）を作成し、ごみ・リサイクル物の分け方・出し方について、啓蒙をしていきます。

問 モーグル種目で栄えある栄冠に輝いた上村愛子選手に「白馬村民栄誉賞」を贈り、「白馬村観光特使」をお引き受けいただくことの考えは。

村長 白馬村表彰条例に基づく「白馬村民栄誉賞」を新たに設け、第1号を贈ることとしました。また、村の観光特使については、前向きに考えていきます。

【ごみ処理広域化の推進】

問 広域では「飯森を施設建設候補地」として、環境対策講演会や二巡目の説明会を開催し、住民理解を深め合意形成に向けて取り組みを進めていくこととしています。村の二団体から「建設場所はともかく、村にごみ処理施設は必要不可欠」として要望書が提出されました。解

釈については、広域連合も含めて公式には、コメントしない立場をとらせていただきます。

村長 賛成の立場の団体が名乗りをあげたことは、ありがたいことであり、賛成・反対両方の意見を出し合い、闊達に論議することが本来あるべき姿だと思います。

要望書という形、文中の表現については、広域連合も含めて公式には、コメントしない立場をとらせていただきます。



輝くクリスタルカップ ワールドカップ5連勝

ごみ問題

問 合意が得られなかった場合は

答 一旦広域連合に返すのがすじ



宮尾幸典議員

【ごみ処理施設問題】

問 二巡目の住民説明会の時期等について伺います。

村長 この6月25日の飯森地区を皮切りに、7月16日の内山・佐野・沢渡地区まで、13会場で実施します。

問 住民の意見集約については、二巡目の住民説明会が終わった8月から9月にかけてという理解でよろしいでしょうか。また、手法については、これまでの一般質問の中で、アンケート調査で行なう旨の答弁をされていますが、この考えに変わりはない

りませんか。さらに、対象者についても、これまでの答弁では、18才以上とされていると思いますが。

村長 住民の意見集約については、時期を定め、アンケート調査により行なう考えです。対象者については、現在の考えでは、20才以上とする予定です。

問 5月12日に、村内の二つの団体から「建設

場所の確定はともかく、ごみ処理場は、白馬村にとって必要不可欠の施設であり、このため、ごみ処理施設の村内における建設を強く要望する。」という内容の要望書が提出されました。「場所はともかく、ごみ処理施設を白馬村内に」という要望書の趣旨を汲んで、広域連合側と折衝の上、白馬村内に絞って候補地を選定するというようなことが可能なのでしょうか。

村長

現在の候補地について、住民合意が得られなかった場合は、一旦広域連合に戻して再検討すべきであり、仮に村内に絞って候補地を選定するにしても、その場所が100%村民合意が得られるという保障のない限り、広域連合側との話し合いをする考えはありません。

【道路問題】

問

「日本海・関東首都圏連絡道路」(新川く白馬ルート構想)を白馬經由の(長野市く富山市ルート構想)とするため、長野市、県等と折衝すると共に、村長の重要政治課題として積極的に取り組む考えはありませんか。

村長

「日本海・関東首都圏連絡道路」は白馬村にとって魅力のあるものですが、それよりもまず、「松本く糸魚川連絡道路」の建設を最優先

して進める必要があります。

【福祉問題】

問

「白馬村障害福祉計画」を関係者の意見を聞いて、見直しする考えはありませんか。又、「障害者の害をひらがなに改める運動」を、推進する考えはありませんか。

村長

「白馬村障害福祉計画」については、障がい者の意見を反映するため、必要な措置を講じてまいりたいと思います。後段につきましては、障がいの皆さんが望むものであるならば、白馬村でも順次切り替えていく事としたいと思います。



広大な面積の大町市最終処分場

追跡レポート

こないだ聴いたことあり
どうなったただやあり

問 答

上村愛子選手に白馬村民栄誉賞を贈る気はありませんか。

白馬村民栄誉賞を新たに設け、第1号を贈ることにしました。



おらが里づくり

白馬町 東八会 松澤 弘



「詩の小徑」散策路

白馬駅東から姫川までの木流川沿い、約1.5キロを称して『詩の小徑』と言います。「生活の糧に薪木を運びしと今に伝えて木流の川」書家の友部先生の詩が春木掲にあります。昭和20年代までここで春木(薪)を引上げていたと聞いています。

股発電所から姫川まで、灌漑用水として造られた人工川です。現在のような機動力のない時代に、住民の力強さが感じられます。田用水や製材又は精米用の水車の動力として使われていました。中でも山から切り出した木材の運搬と消防用水は重要な役割を果たしました。今でもこの恩恵は計り知れない大切な川です。

木立の中を奔る川の端に、歳月の産物とも言える高山植物が自生しているのが見られます。下流から眺める田園風景はすばらしく、写真家や画家に愛されています。私達はこの風景が好きで、ゴミ拾いや草刈から始め、地域の協力を得ながらこの活動も今年で6年目になります。次第に協力者も現れ自発的に掃除をする人を見かけます。スモモ並木に愛好者から寄せられた俳句川柳を木札にして掛けてあります。

川沿いの原野のヤブを刈り払ったあとには、自然にカキツバタやアザミ、ユウスゲなど生えてきました。特に春先のキクザキイチゲの群集は目を引きます。また所々に植えた大山桜も咲き始めお休み所になっていきます。

大出公園への迂回路として観光マップに紹介されてから、『詩の小徑』の散策を楽しむ人が増えてきました。

これからも仲間と知恵を出し合い、遊び心を大切に、楽しみながら進めていき、里山の優しさが訪れた人々の癒の場になれば幸いに思います。

夢、私たちに。 わたしのひとこと



生存競争に思う

沢渡 相沢 五郎

競争社会の現在、生き残りを懸けた熾烈な戦いが、生まれ落ちた瞬間から死ぬ迄続いています。殊に、受験戦争、交通戦争、ゴミ戦争は極めて深刻で国民的課題です。競争社会のヒズミは、時として想いも寄らぬ犯罪が発生し、何の罪もない人々が犠牲になって、本当に恐ろしい世の中です。競争のない社会に進歩発展はないと言われますが、その進歩発展が即、人の幸福に結び付くのでしょうか。競争社会の仕組みを替えなければ、真の意味での平和共存は実現しないかも知れません。そんな時、『勝つことばかり知りて、負くることを知らざれば、害その身に至る』との、古人の遺訓は、千斤の重みを感じさせられます。



白馬に暮らして思うこと

大出 小林 幸子

私は仕事で東京と白馬を行来し、主人は村でバックを創り、都市の百貨店で販売する生活が10年です。都市は、街も人も余裕がなく、その反動か今は不便な山里が観光地となり、都会人の要求に合わせていた所が、廃墟になっています。村の観光客減少も、同じ土俵ではと感じます。でも私は、村に戻るとホッとします。ドンと構える山々、畦道の雑草、苦勞して築いた石積の田畑、過酷な自然の中で住み継がれた民家や生活の知恵、人々の温かさ、どれも都会人が求める生き方です。百貨店に、村の観光案内を持ち込むと“山が素晴らしい。又行きたい。一度行ってみたい。”同じ思いの人が沢山いることや憧れを肌で感じます。私は、都市に迎合せず、便利を取捨選択し、白馬の生活や自然を自信をもって発信しようと思います。暮らす人々が元気で、快適な自然景観が戻れば、“白馬ファン”は、もっと増えると思います。



自然に逆らわない身体動作

落倉 住谷 順一

私は白馬の雄大な景色と日本有数のスキーコースに魅せられ、移り住み約30年となります。しかし、ここ数年大好きなスキーでロングコースを滑るのに多少の疲れを感じるようになっていました。そんな折、身体の中に元来存在する能力に気付く事を教わる機会を得て、その動作の美しさに驚き感動しました。その後、日々の生活の中で自分なりに応用してみると、意外に仕事が早く進んでいることに気付きました。つまり自然にさからわない動きで、こんなにも疲れ方が違うのですから、今迄力まかせに仕事をしてきた事を大いに反省させられました。これから老いていくなかで、自然にさからわず生活できれば、まだまだ私の体は進化するのではと秘かに期待しているところです。白馬の環境もそれらを敬い、見つめ、うまく手を加えながら将来に手渡したいものです。

編集後記

とにかく地球がおかしい。ミャンマーのサイクロンといい、中国四川省の大震災といい、異常性を感じます。地震はともかく、地球規模での温暖化が、異常気象の原因であると言われてきているのが気掛りです。気掛りと言え、温暖化防止のための京都議定書に、アメリカが批准(合意)していないのも気になります。

白馬村でも、ごみ処理施設建設候補地の問題が住民合意に達しておりません。どうすれば住民合意に達するのか、意見を聞いたり議論をしているところです。宮尾幸典記

議会報調査編集 特別委員会

- | | |
|------|-------|
| 議長 | 西澤 功 |
| 委員長 | 柏原 孝至 |
| 副委員長 | 渡辺 俊夫 |
| 委員 | 池田 和良 |
| | 小林 英雄 |
| | 太谷 正治 |
| | 宮尾 幸典 |
| | 高橋 賢一 |

白馬議会だより 第85号
平成20年7月25日発行

発行 長野県白馬村議会
編集 議会報調査編集特別委員会
印刷 旬北辰印刷

〒339-9393 長野県北安曇郡白馬村
☎0261-72-5000 FAX0261-72-7001
http://gyosei.wilkhakuba.nagano.jp/gikai/ E-mail gikai@wilkhakuba.nagano.jp